

4. 観光

	タイトル	意見等
1	悪質業者の件	現在 貴県では「徳島あるでないでキャンペーン」で貴県の県民の税金を使って観光キャンペーンをやられており、初めて徳島を訪問しようと思いA業者にて本日より配られました同キャンペーンの割引チケットをいただきBホテルを予約したところC業者では同プランが補助なしでもA業者で補助ありで予約した場合と100円だけ高いだけだと知り即刻キャンセルをいたしました。あれだけ全国割の際に補助分の値段を吊り上げている宿があるとマスコミを通して批判があったのに貴県ではまだそのようなことをして貴重な県民の税金をネコババするような宿があるのです。情報化社会で今時旧態依然な「旅行客からぼろ」なようなことは通用しませんしそんな県では旅行客は増えないと思います。 現に私はなると見学を楽しみにしていましたがやめることにいたしました。 このあたりの意識改革がまず必要かと思います。
2	阿波古代史観光施策について	昨年頃から邪馬台国阿波説が以前に無い広がりを見せていますが、日本古代史の難解な性質上、SNS上の自然な拡散だけでは徳島観光立県の推進を期待することはできません。2028年に300万人の宿泊者目標達成の為に、県政の更なる阿波古代史PR施策が必要です。県商工会議所なども様々なイベントを企画していますが、当説への危機感からか奈良県民間レベルの対抗映画上映も開始されています。最新研究に基づく状況証拠等から、卑弥呼から欠史8代及び応神天皇時代にかけての国政主体が四国阿波にあったことは確実視されつつあるので、阿波古代史への県政レベルでの関与が急がれます。最も参考となるのが奈良県文化資源活用課等の取り組みで、奈良県では多くの歴史関連動画の作成が行われています。特に注目すべきは5年前作成の「推古天皇と聖徳太子」というアニメ動画で、68万回再生と突出しています。つまり阿波古代史に注目を集めるには県政レベルでのアニメ制作が望まれます。幸い徳島にはマチアソビ企画運営中のアニメ制作会社もあり、商工会との連携体制でも良いので、是非（劇場版）阿波古代史アニメの作成にチャレンジしていただきたく思います。 本県文化資源活用課や観光政策課と同様の活動はほとんどやられていないようですので、先月立ち上げられた自然観光プロジェクトチームの様な組織を用いても良いと思います。最近では県外Uチューバーで説得力のある動画をアップされている方も増えていますし、人材集めにも困らないと思います。莫大な資金を要する事業ではないので、即時的に取り組めるのではないのでしょうか？ 後々、イベント拡大による徳島城公園の活用等も必要となってくるかもしれませんが・・・